

【創業 400 周年を迎え 福砂屋 新工場建設について】

創業 400 周年を迎え長崎県諫早市に土地を取得し新工場建設と流通改革を目指します

おかげさまで福砂屋は今年、甲辰年に創業 400 年を迎えました。

永きに亘ってご愛顧いただきましたことを、多くの皆様に感謝を申し上げます。

この記念の年に、長崎県諫早市南諫早産業団地に約 3.3 ヘクタール（約 10,000 坪）の土地を取得し、新たな工場の設立と流通改革を発表いたします。今回の新工場建設プロジェクトは伝統を重んじつつ、将来に向けて進化する福砂屋の決意を示しています。

（新工場設立の目的）

新工場設立は、現在使用している施設からの刷新を意味し、従業員の働きやすさと生産性の向上を目的としております。

私たちは永きに亘り、カステラを製造して参りました。昔ながらの製法に、新しい技術や設備を整え、工場内の効率的な運営を目指します。また、DX も積極的に推進し、製造から製品出荷までの工程を効率化、集約することにより流通プロセスの改革も目指します。

- ・従業員が今以上に、安心・安全に働ける環境整備。
- ・原材料調達～製造～製品出荷の生産・流通プロセスを短縮し、サプライチェーンの効率化と全体最適化。
- ・県央地区を拠点とし高速道路 IC 近接をメリットに、県内外への物流ネットワーク再編。

新工場の設立と流通改革は、福砂屋が次の 100 年を見据え、長期に亘って真心を込めたカステラを提供し続けるための重要なステップと考えています。これらの進化を通じて、安心・安全な製品をつくりお客様に更なる価値を提供し続けてまいります。

福砂屋について：

福砂屋グループは、寛永元年 甲子（1624）年に、内町が拡張された長崎 引地町で

創業いたしました。東西文化の出会いと交流ができる唯一の街でした。

創業以来、400 年という永きに亘りカステラをつくり続けています。1952 年に東京支店

開設、1983 年には福岡支店を開設し全国のお客様へカステラをお届けしております。

手づくりの伝統を日々確かめ、カステラ文化を創造して参りました。

伝統は頑なに守るものではなく、時代認識を持ち大切に育てていくことを肝に命じ伝統を繋いできました。

創業の心への原点回帰と創意工夫を支えとして、これからもお客様との絆を大切に、

「カステラ 時をつなぐ 心をつなぐ」このカステラづくりの心、ものづくりの心を旨とし、時をつないでいく所存です。

これからも次の100年に向けて、変えるものと変えてはいけないものを着実に見極め、カステラ文化の創造・普及・発展を今後も使命とし、ゆっくりと未来へ向けて一步一步確実に先を目指して参ります。

■立地事業所の概要

- (1)事業所名：株式会社カステラ本家福砂屋本社工場（仮称）
- (2)立地場所：南諫早産業団地 長崎県諫早市栗面町541番57
- (3)取得面積：約3.3ヘクタール（1-2号地）
- (4)建物面積：約14,000㎡
- (5)建物構造：鉄骨造
- (6)着工予定：令和7年
- (7)完成予定：令和8年以降
- (8)生産品目：カステラ、オランダケーキ、フクサヤキューブ 他
- (9)雇用者数：約400名（うち新規雇用 50名）

■企業の概要

- (1)企業名 **株式会社カステラ本家福砂屋**
- (2)本社 長崎県長崎市船大工町3番1号
- (3)東京支店 東京都目黒区青葉台1-26-7
- (4)福岡支店 福岡県福岡市博多区東光寺町1-2-33
- (5)設立 寛永元年（1624年）登記は昭和28年4月
- (6)資本金 3,500万円
- (7)代表者 代表取締役社長 殿村 育生
- (8)業種 菓子製造業
- (9)事業内容 カステラ、オランダケーキなどの菓子製造
- (10)従業員数 615名（令和6年1月1日時点）

- (1)企業名 **株式会社福砂屋商事**
- (2)本社 長崎県長崎市船大工町3番1号
- (3)設立 昭和62年9月
- (4)資本金 9,000万円
- (5)代表者 代表取締役社長 殿村 育生
- (6)業種 不動産管理業、卸売業など
- (7)事業内容 不動産の賃借及び管理、菓子原材料卸売、包装資材卸売など

- (1)企業名 **株式会社福砂屋**
- (2)本社 長崎県長崎市船大工町3番1号
- (3)設立 平成14年7月
- (4)資本金 1,000万円
- (5)代表者 代表取締役社長 殿村 育生
- (6)業種 菓子小売、卸売業
- (7)事業内容 カステラ、オランダケーキなどの菓子販売